

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

佐賀県

佐賀県内の外国人労働者が最多 7 3 5 0 人…人手不足の深刻化で雇用進む、ベトナム籍が最も多く

2024/02/24

佐賀労働局は、佐賀県内の2023年10月末時点の外国人労働者が7350人（前年同期比1296人増）に上り、届け出が義務化された07年以降の最多を更新したと発表した。同労働局は、深刻な人手不足が続く中、外国人雇用に対する理解が進んでいることなどが要因とみている。



佐賀県、28年ぶりに転入超過 背景に外国人の増加

2024/05/04

総務省が4月に公表した2023年10月1日時点の人口推計によると、県では死亡者数が出生者数を上回る「自然減」が続く一方、県外からの転入者が転出者を上回る明確な「社会増」に転じた。社会増加率は22年が0・00%だったが23年は0・04%。県で社会増となるのは28年ぶりで、300人増えた。背景には外国人の増加などがある。



佐賀県内を中心に各地から集まったミャンマー人でにぎわった水かけ祭り＝同県鳥栖市本鳥栖町で2024年4月14日午前11時47分、西脇真一撮影

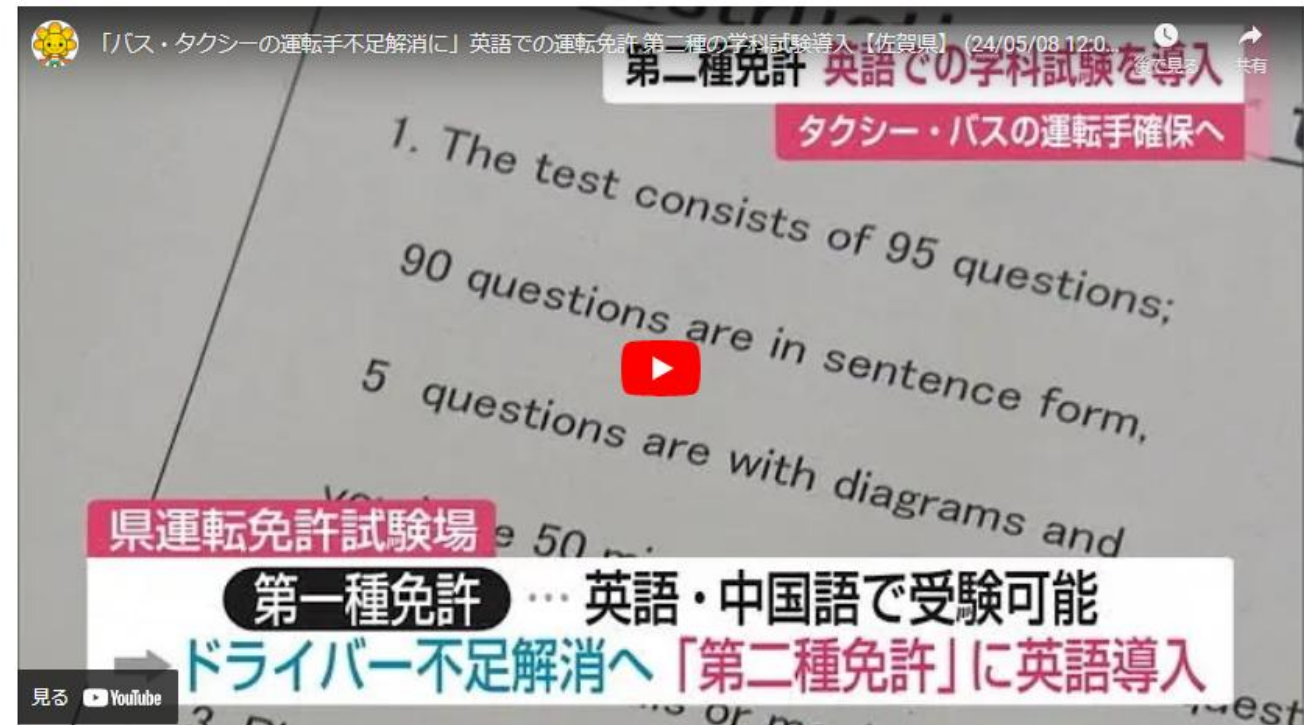
「バス・タクシーの運転手不足解消に」 英語での運転免許

第二種の学科試験導入

人手不足のタクシー、バス業界で外国人の運転手を増やすきっかけにしようと、県の運転免許試験場で英語での学科試験が始まりました。県の運転免許試験場で英語で受検できるのは、客を乗せるバスやタクシーの運転に必要な第二種免許の学科試験です。佐賀県では通常の一種の運転免許の学科試験は英語と中国語で行われていましたが、ドライバー不足を解消しようと第二種免許についても導入されたということです。

バスやタクシーといった「自動車運送業」は、人手不足が深刻で外国人労働者を受け入れる特定技能制度の対象に追加されています。

2024/05/04



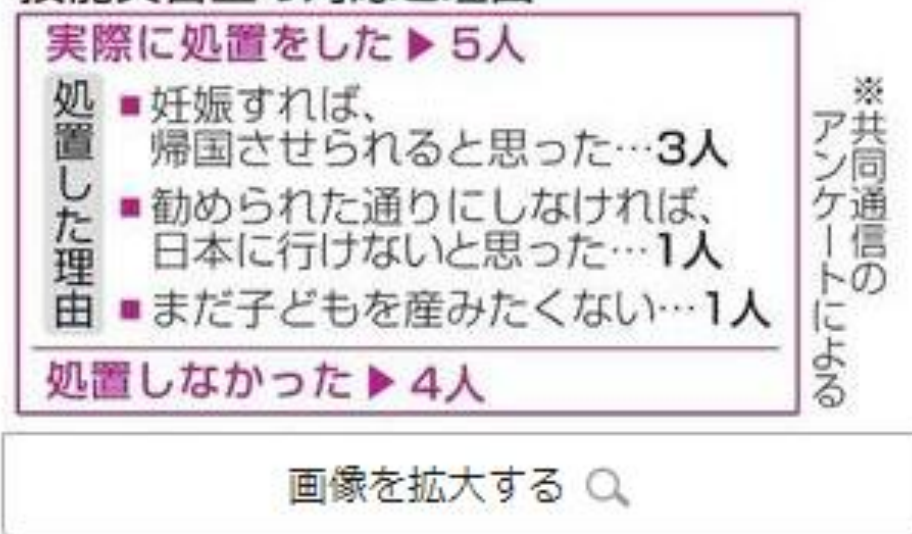
<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2024050816554>

技能実習生に避妊処置勧奨

2024/01/21

技能実習生として来日したベトナム人女性 9 人が、母国で採用の仲介を担う「送り出し機関」から避妊処置を勧められ、このうち 5 人が避妊リングを装着するなどの処置をしたことが 2 1 日、共同通信が支援団体を通じて実施したアンケートで分かった。送り出し機関から「妊娠したら帰国しなければいけない」との指導を受けた上で処置を勧められるケースが多く、「勧められた通りにしなければ日本に行けないと思った」として処置に応じた

送り出し機関から避妊処置を勧められた技能実習生の対応と理由



送り出し機関から避妊処置を勧められた技能実習生の対応と理由

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>

女子短大の介護課程、男子も受け入れ 「日本人来ない」 狙うは留学生

2024/02/26

介護人材を養成する短大や専門学校で、外国人留学生の受け入れが拡大している。今春から、留学生を念頭に初めて男子を迎え入れ、共学化に乗り出す女子短大もある。少子化に加え、介護分野は日本人学生が集まらず、学校側は留学生の受け入れで生き残りを図る。佐賀市内にある佐賀女子短大のキャンパス。介護福祉士を育てる「福祉とソーシャルケアコース」2年生の教室で18人の学生が4、5人ずつ四つのグループに分かれ、人形のようなシミュレーターを使い、たん吸引の実技に取り組んでいた。日本人は各グループに1人ずつ。その他はミャンマーとネパールからの留学生だ。



たん吸引の実技に取り組む学生ら＝2023年10月、佐賀市の佐賀女子短大 

<https://www.asahi.com/articles/ASS2Q62RPRDMTTHB003.html>

47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

佐賀県

増加率全国3位 現場で奮闘する外国人労働者 人口減少で欠かせない一方課題も

2024/09/26

去年全国3番目の増加率となった県内の在留外国人。一番増えている外国人労働者をめぐる制度の問題点や文化の違いもありますが、人口が減る中で欠かせない存在になっています。共に生きるために大切なことは…建設と介護の現場で奮闘する外国人労働者を取材しました。30年後には約2100万人の減少が見込まれている日本の生産年齢人口。県内でも人口が80万人を切るなど減少が加速するなか、佐賀で暮らす在留外国人の数は9,700人あまりとなんと全国3番目の勢いで急増しています



佐賀県内の在留外国人、1万人を突破 増加率は全国2位 人手不足背景に

佐賀県内で暮らす在留外国人数が、2024年7月1日時点で、初めて1万人を超え、1万264人となった。県人口に占める割合は1・3%。県内の労働現場の人手不足を背景に、技能実習や特定技能が伸びている。県は「外国人から選ばれる佐賀県」を目指し、部局横断で多文化共生の取り組みを進めている。

2024/11/08



佐賀県内の在留外国人、過去最多9603人
人手不足で特定...

将来を見据え優秀な外国人の人材を確保 外国人にも働きやすい環境で受け入れ

2024/10/17

近年、介護福祉関連の人材不足が顕著になり、外国人人材への期待が高まっています。1952（昭和27）年に戦争で身寄りを失った高齢者の生活を支えることを目的に設立した社会福祉法人寿楽園は、いち早く外国人の人材を受け入れ、現在同法人佐賀事業所（鳥栖市、基山町）では、40人の外国人スタッフが働いています。

同法人 特別養護老人ホーム施設長の鹿毛智水さんに、外国人の人材を受け入れたきっかけや利用者の声などを聞きました。



<https://saganokaigo.jp/special/%E5%B0%86%E6%9D%A5%E3%82%92%E8%A6%8B%E6%9D%AE%E3%81%88%E5%84%AA%E7%A7%80%E3%81%AA%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%A%BA%E3%81%AE%E4%BA%BA%E6%9D%90%E3%82%92%E7%A2%BA%E4%BF%9D-%E5%A1%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E3%81%AB>

鳥栖市で「サガンワールドカップ」 生 最多230人参加

国籍超え、サッカーで多文化共

2024/12/20

佐賀県内で暮らす技能実習生や留学生ら
によるフットサル大会「Sagan World
Cup2024」が15日、鳥栖市の駅前不動産ス
タジアムで開かれた。サッカーを生かした
国際交流活動として多文化共生社会づくりに
貢献し、今年5月にはJリーグが表彰。過
去最多の約230人が出場し、国籍や文化の
壁を超えて親睦を深めた。



5カ国から過去最多の約230人が出
場し、白熱したプレーを繰り広げた
鳥栖市の駅前不動産スタジアム

人手不足続くバス運転士 “県外からの運転士”採用支援事業に約300万円 11月補正予算案

2024/11/20

県は20日、総額92億円の11月の補正予算案を発表しました。このうち、人手不足が続くバスの運転士について、“県外からの運転士”の採用を支援する事業に約300万円を計上しています。具体的には、県が首都圏で説明会を開くなどして、県外での事業者の採用活動を支援するとしています。また、県外からの採用者に事業者が支援金を支給する場合、県が2分の1、世帯で最大50万円を補助する方針です。



<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2024112018352>

[介護事業所で外国人材増加 深刻な人手不足が背景 クローズアップ](#) | [社会・徳島の話](#) | [徳島ニュース](#) | [徳島新聞デジタル](#)